

高津高校 SSH通信

東アジア-太平洋青少年環境フォーラム 2日目

1月5日～8日に、東アジア-太平洋青少年環境フォーラムを開催しました。

東アジア・太平洋地域の高校生が共同で河川調査、実習、講義その他の文化活動を通じて、

- ・生態系に関する理解を深める。
- ・調査と発表などさまざまな学習と交流を通じて、相互の理解と友情を深める。
- ・科学英語の運用能力とコミュニケーション能力を高める。

ことを目的としています。

今年は、本校から15名および連携校である追手門学院大手前高等学校の生徒6名に加えて、韓国の完山女子高校、全州第一高校から計10名、フィリピンのアンジェリカム大学附属高校から4名の学生が参加しました。

1月7日午前には、神戸学院大学の橋先 淳治先生を講師にお招きし、pH測定用比色管の製作を行いました。本校の科学部生徒がTAとなって実験方法をレクチャーしながら進め、pHの違いによってカラフルに変わる比色管を観察することができました。

また、午後には神戸大学の源 利文先生をお招きし、環境DNAに関する講義と実習を行いました。実習では、生物室にあるメダカの水槽水を用いてろ過の実験を行い、どのように実験することで環境DNAから生物の推定ができるのかを知ることができました。

韓国やフィリピンの生徒たちと英語を使いながら科学的な実習を行ったり、校内散策、文化交流をすることで、科学的な素養を伸ばすことができただけでなく、グローバル活躍したいというモチベーションアップにも繋がりました。



